

発行：はつらつ編集局
 発行日：平成 25 年 8 月 1 日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：はつらつ編集委員
 お問い合わせ：0135-23-3126



北海ソーラン祭り優勝

「今年は大賞をとるぞ!」という、吉田院長の熱い一言からはじまった今回の北海ソーラン祭り。岩内協会病院から 21 名の職員の方々が応援に駆け付けてくださり、総勢 86 名での参加となりました。余市協会病院開院 70 周年を記念して創られたゆるキャラ“みがきんぐ”の行燈と着ぐるみも登場。結果は院長の宣言通り、見事大賞を獲得! 来年はさらにパワーアップした“YKB”と“みがきんぐ”にご期待ください。

研修医リレーコラム57 「子宮頸がん健診」

今回のテーマは子宮頸がん健診です。私の健康診断を受けてくださった女性は皆同じ質問を受けていると思います。「子宮頸がんの健診は受けていますか?」私は、将来は総合内科医を目指しています。それなら何故子宮頸がんの話題を? という印象を持たれるかもしれませんが、総合医療では治療も大事ですが、予防・早期発見もとても重要なお仕事なのです。

子宮頸癌とは?

子宮頸がんは 20-30 代のがんの原因の第 1 位で、原因やがんになる過程がほぼ解明されている、**予防ができるがん**です。また、定期的に検診を受けることで、がんになる前に発見し、子宮を失わずに治療することが可能です。

症状は?

初期にはほとんど症状はありません。不正性器出血などの症状が出てくる頃には進行していて、調べてみると全身に転移していた! などというのもよくある話です。無症状のころから検診で早期発見できれば、子宮の一部を切除するだけで、妊娠性が保たれる(子どもをまだ生める状態)ことも多いです。

検診?

世界的によく引用されている USPSTF というガイドラインにおいて、**子宮頸がん検診は 21 歳以上の女性全例**に行うことを推奨しており、その後は少なくとも 3 年毎にスクリーニング検査を受けることが推奨されています。スクリーニングを受けることで進行がんを 95% 減らします。また、進行がん患者の 50% は一度も頸癌検診を受けておらず、10% は過去 5 年間に受けていなかったことがわかっています。

30 代女性という、平均的にはそのお子さんが小学校に入学する頃でしょうか? そのような時に進行がんが見つかって、苦しい思いをして抗癌剤治療を受け、場合によっては命を失ってしまうのです。残された子ども、家族のやりきれない思いを考えてみてください。子宮頸がんは、若いからといって決して自分に無関係なものだと思わないでください。もしまだ子宮頸がん検診を受けていない方、受けたけどもう 3 年以上受けていないよという方は、是非最寄りの婦人科クリニックを受診してくださいね。あ、もちろん女性ですよ(笑)

全国の母を失って悲しむ子どもの姿を少しでもなくしたいと心から願っています。 **手稲溪仁会病院研修医 遠藤 慶太**

余市協会病院祭り開催!

【日 時】平成 25 年 9 月 13 日(金)

【場 所】1F ロビー

「一世一代時代組」による歌やチャンバラ、写真撮影など。正面玄関にて花火も実施します!



救急件数 (7月)

外来受診267件 うち入院44件
 救急車来院72件 うち入院31件



内科顧問 谷川 淑郎 先生
 元 社団法人余市医師会 副会長
 去る 7 月 1 日、多年に亘り本町地域医療の振興に尽力され町勢の進展に寄与された功績により功労賞を授与されました。

余市町功労賞受賞